



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月6日

上場取引所 名

上場会社名 日華化学株式会社

コード番号 4463 URL <http://nicca.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門副部門長 (氏名) 澤崎 祥也

TEL 0776-24-0213

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	29,247	—	2,132	—	2,218	—	1,321	—
25年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 2,081百万円 (—%) 25年12月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	75.13	—
25年12月期第3四半期	—	—

当社は、平成25年6月25日に開催されました定時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成25年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更し、また、3月決算の連結子会社も12月決算に変更しております。これらに伴い、平成25年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成26年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率及び平成25年12月期第3四半期の連結経営成績(累計)については記載しておりません。

[参考]

連結対象期間を平成25年1月1日から平成25年9月30日の9ヶ月間とした前第3四半期業績に対する当第3四半期業績の増減率は、売上高7.9%、営業利益9.3%、経常利益2.1%、四半期純利益△25.5%であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	40,127	20,470	44.5	1,014.46
25年12月期	40,774	18,984	40.1	929.40

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 17,845百万円 25年12月期 16,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	6.00	—	10.00	16.00
26年12月期	—	8.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	—	3,000	—	3,100	—	2,250	—	127.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

前連結会計年度は、当社及び3月決算であった連結子会社につきましては平成25年4月1日から平成25年12月31日の9ヶ月間を、従来からの12月決算の連結子会社等につきましては平成25年1月1日から平成25年12月31日の12ヶ月間を連結対象期間としております。このため、対前期増減率は記載しておりません。

[参考]

当社及び3月決算であった連結子会社並びに従来から12月決算の連結子会社等の平成25年1月1日から平成25年12月31日の12ヶ月間を連結対象期間とした業績に対する平成26年12月期通期連結業績予想の増減率は、売上高10.0%、営業利益△0.7%、経常利益△8.6%、当期純利益△18.4%であります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	17,710,000 株	25年12月期	17,710,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	118,667 株	25年12月期	115,771 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	17,592,940 株	25年12月期3Q	— 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)
平成26年12月期第3四半期連結累計期間	29,247	2,132	2,218	1,321
(参考) 前年同一期間 ※1	27,114	1,951	2,173	1,773
調整後増減率 ※1	7.9%	9.3%	2.1%	△25.5%
平成25年12月期第3四半期連結累計期間 ※2	—	—	—	—

※1 (参考) 「前年同一期間」の金額は、当第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に対応する前年の同一期間（平成25年1月1日から平成25年9月30日まで）であり、「調整後増減率」はこれに対する当第3四半期連結累計期間の増減率を記載しております。

以下、増減については、この「前年同一期間」との比較で記載しております。

※2 当社は、平成25年6月25日に開催されました定時株主総会において、「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、平成25年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更し、また、3月決算の連結子会社も12月決算に変更しております。これらに伴い、平成25年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成26年12月期第3四半期連結累計期間については記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間（自平成26年1月1日至平成26年9月30日）におけるわが国経済は、円安を背景とした原材料やエネルギー価格の高騰の影響が懸念され、消費税増税や天候不順等により個人消費は弱含みとなったものの、金融緩和をはじめとした政策効果等により景況感に改善の動きが見られたことから、緩やかな回復基調で推移しました。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な営業活動を推進した結果、売上高は292億4千7百万円（前年同一期間比7.9%増）、営業利益は21億3千2百万円（同9.3%増）、経常利益は22億1千8百万円（同2.1%増）、四半期純利益は13億2千1百万円（同25.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

	売上高			セグメント利益		
	第3四半期連結累計期間		調整後 増減率 (%)	第3四半期連結累計期間		調整後 増減率 (%)
	(参考) 前期同一期間 (百万円)	26年12月期 第3四半期 (百万円)		(参考) 前期同一期間 (百万円)	26年12月期 第3四半期 (百万円)	
化学品	21,539	23,420	8.7	1,588	1,924	21.2
化粧品	5,574	5,826	4.5	1,308	1,278	△2.3
合計	27,114	29,247	7.9	2,896	3,203	10.6

①化学品事業

売上高は234億2千万円（同8.7%増）、セグメント利益は19億2千4百万円（同21.2%増）となりました。

海外では、中国において衣料用高機能薬剤が伸張するなど、東南アジア地区において繊維加工用薬剤が好調に推移し、北米においても自動車内装用薬剤等が好調で、売上高は大きく伸張しました。国内では、消費税増税の影響等によりホームクリーニング向け業務用洗剤は低調でしたが、自動車産業の回復に伴い、自動車内装用薬剤等が好調に推移したことに加え、インテリア用高機能薬剤も好調で、売上高は増加しました。

②化粧品事業

売上高は58億2千6百万円（同4.5%増）、セグメント利益は12億7千8百万円（同2.3%減）となりました。

美容サロン業界においては、来店サイクルが益々長期化し、業界全体が伸び悩む中、当社主力ブランドであるデミコスメティクスや、イーラル株式会社が堅調に推移し、山田製薬株式会社の通販ブランドである「アンサーージュ」や化粧品生産受託事業が高成長した結果、売上高は増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、6億4千7百万円減少し、401億2千7百万円となりました。たな卸資産は増加しましたが、受取手形及び売掛金や有形固定資産の減少等により、総資産は減少しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、21億3千2百万円減少し、196億5千6百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金、短期借入金、その他流動負債、長期借入金の減少であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、14億8千5百万円増加し、204億7千万円となりました。これは、利益剰余金や為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の40.1%から44.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,248,130	5,293,241
受取手形及び売掛金	9,263,029	8,221,056
商品及び製品	2,469,456	2,614,788
仕掛品	700,415	827,737
原材料及び貯蔵品	2,600,543	2,897,807
その他	942,971	1,098,907
貸倒引当金	△58,855	△115,383
流動資産合計	21,165,692	20,838,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,072,167	7,031,719
機械装置及び運搬具（純額）	2,735,527	2,509,325
土地	5,814,010	5,887,319
その他（純額）	675,673	596,191
有形固定資産合計	16,297,378	16,024,554
無形固定資産		
のれん	307,811	266,682
その他	587,808	667,997
無形固定資産合計	895,619	934,679
投資その他の資産	2,415,952	2,329,616
固定資産合計	19,608,950	19,288,851
資産合計	40,774,643	40,127,007

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,079,895	3,685,811
短期借入金	7,016,482	6,441,583
未払法人税等	392,196	350,402
賞与引当金	243,500	544,103
その他	2,458,195	2,130,625
流動負債合計	14,190,270	13,152,525
固定負債		
長期借入金	4,112,443	3,150,349
退職給付に係る負債	2,559,630	2,567,660
その他	927,399	786,211
固定負債合計	7,599,473	6,504,221
負債合計	21,789,743	19,656,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898,545	2,898,545
資本剰余金	3,040,249	3,040,249
利益剰余金	10,173,714	11,178,722
自己株式	△49,677	△52,271
株主資本合計	16,062,832	17,065,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	206,675	242,733
為替換算調整勘定	267,779	694,339
退職給付に係る調整累計額	△185,235	△156,616
その他の包括利益累計額合計	289,219	780,455
少数株主持分	2,632,847	2,624,559
純資産合計	18,984,899	20,470,261
負債純資産合計	40,774,643	40,127,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	29,247,335
売上原価	18,833,986
売上総利益	10,413,349
販売費及び一般管理費	8,280,949
営業利益	2,132,400
営業外収益	
受取利息	40,377
受取配当金	43,276
持分法による投資利益	76,911
その他	187,906
営業外収益合計	348,472
営業外費用	
支払利息	72,774
為替差損	42,672
売上割引	61,699
その他	85,038
営業外費用合計	262,184
経常利益	2,218,688
特別利益	
固定資産売却益	184,322
受取保険金	28,272
特別利益合計	212,594
特別損失	
固定資産除却損	1,188
固定資産売却損	102
関係会社株式売却損	9,980
ゴルフ会員権評価損	510
特別功労金	150,000
社葬費用	18,440
特別損失合計	180,220
税金等調整前四半期純利益	2,251,061
法人税等	752,245
少数株主損益調整前四半期純利益	1,498,815
少数株主利益	177,122
四半期純利益	1,321,693

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,498,815
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	36,057
為替換算調整勘定	517,618
退職給付に係る調整額	28,618
その他の包括利益合計	582,295
四半期包括利益	2,081,110
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,812,928
少数株主に係る四半期包括利益	268,181

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第3四半期連結累計期間（自平成26年1月1日至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	化学品	化粧品	計	
売上高				
外部顧客への売上高	23,420,496	5,826,839	29,247,335	29,247,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,002	13,146	14,149	14,149
計	23,421,499	5,839,985	29,261,484	29,261,484
セグメント利益	1,924,943	1,278,531	3,203,475	3,203,475

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,203,475
セグメント間取引消去	7,232
全社費用（注）	△1,078,307
四半期連結損益計算書の営業利益	2,132,400

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。